

青山民謡酒場 vol.5

2012年3月8日(木)～9日(金)
CAY(スパイラル B1F)



「つるとかめ」が、日本の音楽シーンを支える名ドラマー4名と夢の共演！！

CAYでは、3月8日(木)～9日(金)にかけて「青山民謡酒場 vol.5」を開催いたします。

地域に根付いたソウルフルな音楽を 食とともに提案する「青山民謡酒場」第5回開催！

農民たちが苗を植える。船乗りたちが網を投げる。豊漁を祝う。自然豊かな風景を歌う。かつて生活のあらゆる局面で、さまざまな感情を表現する音楽として、暮らしのすぐ近くにあった民謡。現代に生きる私たちも必ずどこかで耳にし、言い知れぬ懐かしさを覚えた経験があるのではないのでしょうか。

人から人へ、時代を越えて脈々と伝えられてきたその力強いリズムや豊かなメロディ、古来からの知恵を刻んだ歌詞の中には、今も変わらず私たちの心を奥底から揺さぶる強い魅力があります。

そして、日本各地に残る歴史や文化がその地域固有の魅力として改めて評価されつつある中、音楽界においても民謡に新たな眼差しが向けられ、現代のミュージシャンの間で注目を集めてきています。

「青山民謡酒場」は、ジャンルを超えて良質な音楽を提案してきた CAY が、地域に根付いたソウルフルな民謡を食とともに提案しようとスタートしました。

私たちを芳醇な民謡の世界へと導くのは、津軽三味線の第一人者・澤田勝秋と、唄と太鼓の実力者として、民

謡、ジャズ、ポップスとジャンルの垣根を越えて幅広く活躍する木津茂理による民謡ユニット「つるとかめ」。これまで、各回ごとに異なるジャンルから多彩なゲストを迎え、全国の民謡を意外な流れや方法で紹介し、新しい魅力を伝えてきました。

また、お酒を片手に、音楽を聴きながら、会場を訪れた人たちみんなが食べて、飲んで、手を叩いて歌う、民謡が持つ自由に歌う精神を体現したような「青山民謡酒場」は、音楽本来の楽しみ方を体験できる、CAYならではのライブスタイルとして好評を博しています。

日本の音楽シーンを支える4組のドラマーが 民謡を軸に共演する異色のステージに期待！

第5回目となる今回は、ゲストに林立夫、ASA-CHANG、坂田学、伊藤大地という、日本の音楽シーンになくてはならない4名のドラマー／パーカッショニストが集結する異色のステージとなります。

元来、農作業など生活の中の自然な動作から生まれ、私たちの血肉となって息づくおらかな民謡のリズムを奏でる「つるとかめ」と、今という時代のリズムを刻むミュージシャンが出会い、溶け合ったとき、どのようなグルーブが生み出されるのか、想像を超えたコラボレーションにご期待下さい。

掲載や取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 担当 加藤美穂、四元朝子(よつもとともこ)
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848
E-mail press@spiral.co.jp WEB www.spiral.co.jp

【開催概要】

青山民謡酒場 vol.5

日時:2012年3月8日(木)~9日(金) 開場 18:00 開演 20:00

会場:CAY(スパイラル B1F) 東京都港区南青山 5-6-23 (TEL: 03-3498-5790)

出演:つるとかめ(澤田勝秋、木津茂理)

林立夫、ASA-CHANG、伊藤大地、坂田学

料金:前売¥3,000 当日¥3,500【税込/飲食代別途/自由席 or 立見】

予約・問い合わせ:CAY 03-3498-5790(平日 12:00~21:00)

共催:つるとかめ / CAY

【出演者プロフィール】

つるとかめ 澤田勝秋(津軽三味線・唄)・木津茂理(太鼓・唄・三味線)

津軽三味線・津軽民謡一筋、当代一の名手、澤田勝秋と、唄と太鼓を通じて民謡本来の楽しさを追求しつつ多彩なジャンルに挑戦し続ける木津茂理。世代を超えた二人が2001年に結成。かつては人々の暮らしに寄り添っていた"唄"に焦点をあて、虚飾を排し「弾きながら唄い・叩きながら唄う」独自のスタイルで民謡の真髄を伝える。これまでに『つるとかめ』(2002)、『あいのかぜ』(2003)、『しゃつきとせ』(2007)と3枚のCDをリリースし、暮らしの中の喜怒哀楽が伝わる奥深い民謡の世界を表現してきた。またヨーロッパ・極東ロシア・中央アジア諸国・南米諸国のツアーを行い、現地で喝采を浴びている。2011年からはライブ・イベント『青山民謡酒場』をプロデュースし、ジャンルの垣根を越えて熱い視線を浴びている。

つるとかめ公式サイト: <http://tsurukamesite.jugem.jp/>



澤田勝秋



木津茂理

林 立夫

1951年5月21日生まれ。東京都出身。中学時代より細野晴臣、後藤次利、鈴木茂などと交流を深め、スカイ、小坂忠とフォー・ジョー・ハーフなどに参加する。72年より細野、鈴木、松任谷正隆とキャラメル・ママ(のちにティン・パン・アレーと改名)で活動し、数々のミュージシャンとのレコーディング・セッションに参加。その後バンブー、パラシュート、アラゴンなどのバンド活動の他、プロデュース活動も行なう。80年代半ばに音楽活動を休止するも、96年の荒井由実コンサート参加を機に活動再開。99年から始まったイベント【GROOVE DYNASTY】の企画・プロデュースを始め、現在に至る迄に大貫妙子、今井美樹、スキマスイッチ等のレコーディングやコンサートへの参加等、プロデューサー&ドラマーとして活躍している。

林 立夫公式サイト: <http://www.soft-edge.net/main.html>
<http://ameblo.jp/soft-edge/>

林 立夫オフィシャルブログ: <http://ameblo.jp/soft-edge/>



ASA-CHANG

ヘア・メイキャップアーティストを目指して、福島県いわきより上京。

89年に東京スカパラダイスオーケストラのパーカッション兼バンド・マスターとしてデビュー。自ら創始した東京スカパラダイスオーケストラがブレイクを果たすが93年に脱退、フリーランスに。

いわゆるラテン・パーカッション系だけでなくインド・アジア系から玩具類、ガラクタ、シンセ音などを散りばめる独特のプレイスタイルを確立し、ドラマーとしても躍動感のある唯一無二のそのビートは、パワフルさと繊細さを兼ね備え、数多くのアーティストからの信望を集めている。2011年11月9日に、プロデュースやアレンジ、作曲などの作品をコンパイルした「ASA-CHANG & 蒐集」を発売。

ASA-CHANG オフィシャルサイト: <http://www.asa-chang.com/>

ASA-CHANG & 巡礼オフィシャルサイト: <http://www.junray.com/junray/home.html>



坂田 学

1973年12月12日生まれ。父はサックス奏者の坂田明。10歳からドラムを始める。96年、ピラニアズに参加後、Polaris、ダブダブオンセンなどのバンドで活動。ドラマーとして、ジャンルを超えて数多くのレコーディング、ライブに参加。

04年の初ソロライブ以降、ソロ活動も活発化。今までにソロアルバム3作品を発表。オムニバス・アルバム2作品に参加。その他、DVDのサウンドトラック、舞台音楽、ファッションショーの音楽を手掛ける。

**伊藤大地**

1980年3月8日生まれ。東京都保谷市出身。小学生時代の大半をインドネシアのジャカルタで過ごす。

中学まではプロ野球選手を本気で目指すが、坊主頭を受け入れることができず断念。高校入学と同時にドラムを始め、卒業後、バンドを掛け持ちしながら活動開始。吉祥寺、高円寺、下北沢、渋谷等のライブハウスを中心に活動。2000年、SAKEROCKを結成。その後、2002年、Killing Floorに加入。2004年、グッドラックヘイワを野村卓史(Key.)と結成(現在、活動休止中)。同年、Cherry's、Good Dog Happy Men(09年4月に脱退)を結成。現在は、細野晴臣、星野源、元ちとせ、坂本美雨・・・他のサポートミュージシャンとしても活躍中。

ドラムの他に口笛も得意とする。好きな食べ物は巨峰とキウイ。

**【参考資料:これまでの青山民謡酒場】**

Vol.1 2010年5月17日(月)高橋キヨ子、高橋祐次郎

5月18日(火)香西かおり

5月19日(水)Soothe、GocooLaCoo

5月20日(木)坂田明、ASA-CHANG

5月21日(金)原田直之、高橋祐次郎

そのほか、澤田勝秋社中、澤田勝成・勝春、木津茂理社中

Vol.2 2010年9月2日(木)大儀見元 新良幸人

9月3日(金)高橋祐次郎

Vol.3 2011年7月6日(水)坂田明、仙波清彦

7月7日(木)澤田勝司、澤田勝成、澤田勝春、澤瀉秋子

Vol.4 2011年11月24日(木)大工哲弘

11月25日(金)林立夫、澤田勝秋社中、細野晴臣(飛び入り)

CAY (スパイラル B1F)

こころとおなかを満たす食と音楽のライブ空間です。タイ料理中心とした身体にやさしい料理、各種アルコールメニューと、幅広いジャンルの音楽を配信する本格的ライブステージとの競演を心ゆくまでお楽しみいただけます。

ランチ営業 11:30~15:00 / デイナー営業 18:00~24:00

TEL: 03-3498-5790



Photos: Katsuhiko Ichikawa